



やまゆり

学校だより

令和6年月20日
22号
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行するー
校内研究重点 「WEBQUを活用し、学級の安定と活性化を図る」

学校教育目標重点 「健やかな身体の育成」・「豊かな心の育成」

困難に耐えチャンスを見出す努力を継続した野球部 都留支部総合体育大会

6月17日(土)に、延期された野球部の都留支部総合体育大会の試合を行いました。当日は生徒のやる気一杯の気持ちを表す快晴で、都留市の楽山球場で試合をしました。結果は、0対11の敗戦でした。

しかし、部活動を通してとても重要な事を学び、体験できました。

結果も重要ですが、教育において結果よりも重要なのは、「当日を迎えるまでの部活動を通して、人として成長」することです。

高校や社会で通用する人間関係力や非認知能力は、「好きな人と好きなことだけやっていれば良いのではない」のです。試合に出ている生徒、出していない生徒も含め、置かれた状況の中で、チームに貢献するための活動を主体的にする意識と行動こそが重要です。

その観点では、前指導者の笠田先生・市川先生、現指導者の組谷先生・三浦先生、そしてご家族の皆様のご家庭のお陰で、辛く困難な状況でも、協力しながら一生懸命プレーする人間性を確実に身につけています。指導してきたことが出来ていることをしっかり評価したいと思います。下の写真の本校生徒、背番号13番の選手は、試合には出ていません。しかし、試合中ではない準備の段階からグラウンドで全力でダッシュして移動していました。



部員としてチームに、貢献する。観客に「感動」を届けることができるプレーヤーとして、とても素晴らしい行動でした。この生徒の優れた行動は、誰かが「教育」しなければできません。人は、「育てたように育つ」のです。

生徒から学び、生徒に良い思いをさせてあげられるように、今後も家庭・地域・学校で協働したいと思います。

部活動を通して、全校生徒が学んでいること

中学校は、高校入試のためにあるものではありません。中学でしか学べないことを、仲間と共に体験を通して学ぶ事で、社会に通用し、貢献できる心身を育成します。

- 1 3年間、辛いことも苦しいこともあったが、多くの人に支えられながらくじけずやり抜いたこと。
- 2 当日は、5回までに11点取られ、とても辛く苦しい展開だった。しかし、その辛さを全員が正面から受け止め、声を出し合い、お互いに励まし合いながら乗り越えたこと。
- 3 試合に出ている生徒もベンチ等で自分の仕事をしている生徒も、一生懸命に今できることをしていたこと。
- 4 試合の中では、守備・攻撃・走塁・礼儀やマナー等、とても素晴らしいプレーがあり、日常の努力の成果を発揮出来ていたこと。
- 5 他校や世の中には、素晴らしい能力をもった生徒がおり、今後高校や社会で通用する力をつける必要があることを体験をもって知ったこと。
- 6 一生懸命努力することで、自己承認感を得ることができ、また友人の努力を評価し、人を傷つけることを言わず、連帯してみんなで協力する体験ができたこと。
- 7 友人や家族、指導して下さった先生方に心から感謝する気持ちを体験を通して学んだこと。

道志・都留一中・東桂中の合同チーム



宮本先生の専門性を生かした怪我への適切な対応

修学旅行に続く、救護活動



野球の総合体育大会の試合中に、生徒同士が衝突してしまいました。

その瞬間、試合の「救護」をしていた、宮本先生がすぐにグラウンドに駆けつけ、適切な対応をしました。

当該生徒はすぐに病院で診察していただき、「打撲」で済みました。怪我をした生徒の保護者や当該校の管理職からも、「迅速で適切な対応を、ありがとうございました。」とお礼の言葉をいただきました。

※試合の観戦者の中に都留市消防本部の隊員の方もおり、お手伝いして下さいました。

試合開始 3年生4名のやる気の様子

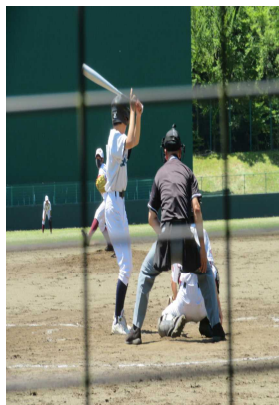
ファインプレー そして、声を出し続けた紫龍さん



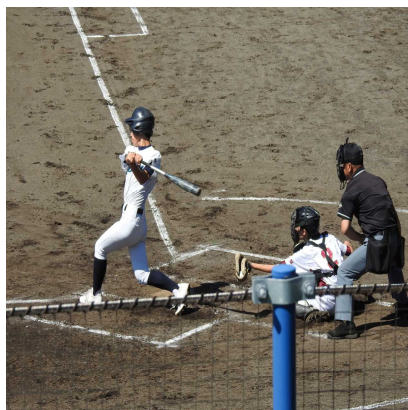
センターライナー、輝さん

ボールをよく見て粘り、4球出塁 雅也さん

堅実な守備、景己さん



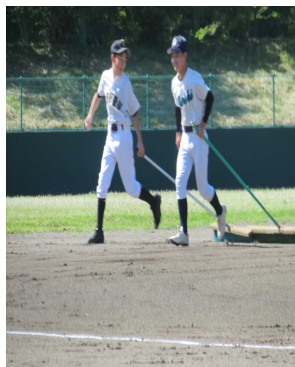
芯に当たり大きな打球がレフトへ



1塁で正確に捕球し、必ず声かけをしていた千莉さん



陽万さん・結友さん・祿太さんも会場準備や応援等頑張りました



勝つことは出来なかった。しかし、上達する！勝ちたい！と願い努力した日々が本当の財産。



ベンチで指導をした組谷先生



スコア表示の仕事で大会を支えた三浦先生



TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
ツル	2	0	6	3	0						11
コウ	0	0	0	0	0						0

